

| | | | |
|----|--------------|----|------|
| 教科 | 技術・家庭(技術 分野) | 学年 | 第3学年 |
|----|--------------|----|------|

| 単元名 | 時数 | 単元の到達目標(小単元のねらい) | 単元のまとまりの評価規準 | | |
|---|----|---|---|--|---|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 「社会の発展と生物育成の技術」 | 1 | これからの社会の発展と生物育成の技術の在り方を考える活動などを通して、身に付ける。 | 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、生物育成の技術の概念を理解している。 | 生物育成の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。 | よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。 |
| 「生活や社会を支える材料と加工の技術」 | 2 | 生活や社会における問題を、材料と加工の技術によって解決する活動を通して、身に付ける。 | 材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。 | 材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 | 主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。 |
| 「材料と加工の技術による問題の解決」 | 6 | 生活や社会における問題を、材料と加工の技術によって解決する活動を通して、身に付ける。 | 製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。 | 問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。 | よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 |
| 「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決」 | 5 | 生活や社会における問題を、ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決する活動を通して、身に付ける。 | 情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。 | 問題を見いだして課題を設定し、使用するメディアを複合する方法とその効果的な方法を構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。 | よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 |
| 「計測・制御のプログラミングによる問題の解決」 | 3 | 生活や社会における問題を、計測・制御のプログラミングによって解決する活動を通して、身に付ける。 | 計測・制御システムの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。 | 問題を見いだして課題を設定し、入出力されるデータの流れを元に計測・制御システムを構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。 | よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 |
| 「社会の発展と情報の技術」 | 1 | これからの社会の発展と情報の技術の在り方を考える活動などを通して、身に付ける。 | 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、情報の技術の概念を理解している。 | 情報の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。 | よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。 |